

# 藤中だより 10月号



平成26年10月31日  
京都市立藤森中学校  
ホームページアドレス  
<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/fujinomori-c/>  
Eメールアドレス  
fujinomori-c@edu.city.kyoto.jp

## 9/30 「合唱コンクール」 ~「競争」から「共創」への藤中祭~

どのクラスも一所懸命に取り組んだ合唱コンクール。「京都コンサートホール」での実施も3年目となりました。1年生のあるクラスは「フリをしないで、みんな本気で唱いたい」とのスピーチ。2年、3年になるにしたがって、歌詞の意味を読み取り、それを自分たちのこれからに照らし合わせているスピーチがふえていく。そして、仲間や先生に対する感謝も...。はっきりしたこと。それは「競争」から始まった合唱コンクールが、「共創」になったということ。その証拠に、クラスの合唱を超えた、格段にすばらしい学年合唱を響かせてくれた。クラスの合唱での悔いや自責の念を、やさしくつぶんで洗い流す学年合唱でした。ふと「悲しみは悲しみを知る悲しみに救われ、涙は涙にそそがれる涙にたすけられる」という金子大栄の言葉が脳裏に浮かぶ。結果は次の通り。

【1年生の部】	金賞 8組	銀賞 6組	銅賞 1・11組
【2年生の部】	金賞 5組	銀賞 1組	銅賞 7・11組
【3年生の部】	金賞 1組	銀賞 10組	銅賞 7・11組



### ☆ 各学年 金賞クラスの合唱の様子 ☆



1年8組「カリブ夢の旅」



2年5組「大切なものの」



3年1組「変わらないもの」



1年生学年合唱「Unlimited」



2年生学年合唱「春に」



3年生学年合唱「信じる」

## 「生徒会本部役員選挙」、そして「キフ☆ブック」の取り組み

10月22日(水)午後、全校生徒が体育館に集まりました。前の週から立候補者の皆さんは、朝、校門に立って活動を続けてきました。候補者の誰もが、立派に全校生徒の前で演説を行いました。立候補者はもちろん、応援演説の人も原稿を見ないで堂々と自分の考えを述べる....。思いが伝わるように一所懸命話します。定数通りの立候補でしたが、投票の結果、全員が信任を受けました。今後の生徒会活動が楽しみです。



また、3年生を中心とした今の本部役員による取り組みとしては最終となる「キフ☆ブック」の活動。毎朝校門に立ち続けた、その粘り強さが数に表れました。

先日、みごとに目標の2,000冊を超えました！ パチパチパチ…

なお、認証式は11/12(水)です。





# 「一生懸命はかっこいい！」 それが「感謝」に結びついた『体育の部』！



10月2日(木),『藤中大作戦』を締めくくる「体育の部」が行われた。朝のうちは青空が広がっていましたが、夕方からは雨が降りそぞうだということで、できるだけ時間を詰めて行われたこの日、生徒たちはほんとうによく頑張りました。それぞれの競技はもちろんのこと、体育の授業で時間をかけて取り組んだ団体演技は、どの学年も特にすばらしかった。保護者のみなさんも口ぐちにおっしゃっていましたが、みんな一生懸命な、すばらしい体育の部でした。まさに、校長先生がこの3年間言い続けてこられた「一生懸命はカッコいい」を見せてくれた一日だったと思います。特に最後の生徒会長の言葉は、みんなの胸にしみ込み、やがて温かく広がりました。体育の部を含めた藤中祭の成功は「みんなと一緒にできることに対する感謝」があればこそでした。一生懸命できたからこそ味わえた「感謝」…。今年も行事の取り組みが、君たちを大きく成長させた。

◇ 総合成績は以下の通り

【1年】金賞:3組	銀賞:2組	銅賞:5組
【2年】金賞:5組	銀賞:2組	銅賞:3組
【3年】金賞:3組	銀賞:4組	銅賞:2組



## 未知なる世界へ…2年「生き方探究・チャレンジ体験」

2年生にとっての大きな行事である「生き方探究・チャレンジ体験(略称:生きチャレ)」が来週に迫ってきました。一昨日は多くの生徒が事前の挨拶に出かけました。3日間学校から離れるということで、不安な人もいれば、嬉しい(?)人もいることでしょう。いったいどんな貴重な体験をして、学校に戻ってくるのでしょうか?「すべての仕事は人のため」。この3日間は、今までつながりのなかった人と関わり、未知の世界で活動することになります。どうか勇気をもって誠実に体験してください!



「One child, one teacher, one pen and one book can change the world. Education is the only solution. Education First.」

【1人の子ども、1人の教師、1冊の本、そして1本のペン、それで世界を変えられます。教育こそがただ一つの解決策です。エデュケーション・ファースト(教育を第一に。)】

これは今年のノーベル平和賞を受賞したマララさん(17)が、昨年、国連で演説した有名な言葉だ。彼女は言う。「私を撃ったテロリストが私の前に立っていたとしても、私は彼を撃たない。…これは、私が学んできた慈悲の心であり、マーティン・ルーサー・キング、ナルソン・マンデラ、そしてムハンマド・アリー・ジンナーから受け継がれた変革という財産であり、ガンディーやマザー・テレサから学んだ非暴力という哲学だ」と。

そして、こう続ける。「私たちは暗闇のなかにいると、光の大切さに気づきます。沈黙させられると、声を上げることの大切さに気づきます。同じように、私たちがパキスタン北部のスワートにいて、銃を目にしたとき、ペンと本の大切さに気づきました」。

名前が出てきたキング牧師やマンデラ元大統領、マザー・テレサなど、ぜひともその人生を調べ、学んでほしい。もちろんマララさんについても。

様々な生き方に触ることは、自分の未来を切り拓く力になる。

## 小学校訪問に向けて(1年生)

8年前に始まった小学校訪問も今回が9回目となります。1年生は校区の4つの小学校の1・2年生を11/12(水)に訪問します。そのための取り組みを総合学習の時間を中心にして行ってきました。小学生への案内状を作ったり、Name Watchを作ったり…。また、先日は絵本の読み聞かせの講習も受けました。どうすれば小学生が喜ぶかを考えている姿には、中学生としての成長を感じます。

小学生は首を長くしてこの日を待っています。小さな弟や妹たちにワクワクする時間を!



## 11月のおもな予定

4(火) P T A 実行委員会 3年進路懇談(～10日)	
5(水)～7(金) 2年チャレンジ体験	
10(月) 預り金引落し日	
11(火) 再検尿	
12(水) 1年小学校訪問 認証式[6限]	
14(金) 伏見支部生徒会 地域美化ボランティア 評議・各種委員会	
18(火) テスト1週間前	
21(金) 育成学級校外学習	
26(水) 第4回テスト～28(金)	